

●むかし、ぐんまに「港」があった!?



長さ30メートル近い船もあった

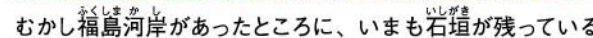
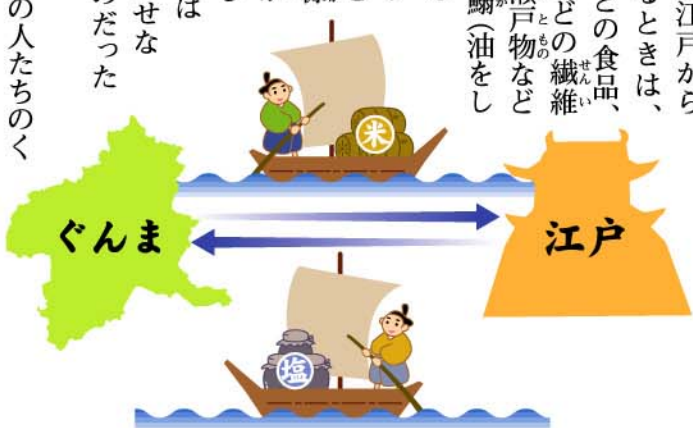
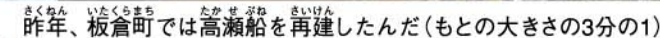
ボ
川をゆききしていたのは、どんな船だったの？
さつき、たしか「白い帆の大きな船」って言うてたけ
ど…。

博 さよう。船は「高瀬船」「ひらた船」「べか船」な



行きは「米」帰りは「塩」

ホ 荷物はどんなものが運ばれていたの？
博 前に説明したように、江戸時代のはじめのころは年貢米、それから材木、足尾銅山おとへどうざんから出る銅など、お役所であつかう荷物がぐんまから江戸へ運ばれた。そのうち、一般の商品も運ばれるよう



ぐんまに40力所も港があつた

ボ うへーつ、ホント!?

博 それと、もうひとつ。物を運ぶのにかかるお金うんちんⅡ運賃Ⅱが船は安かったということも舟運がさかえた理由じゃな。



河岸は活気あふれる「まち」

ポ 江戸時代の河岸って、どんなようすだったの？
博 そうじゃな。江戸時代のはじめのころは「年貢
 米（ぜいきん）（税金としてとりたてたお米）」などを運ぶのが



なんと

むかし、ぐんまに「みなと港」があつた!?

